

※ 解答は、《解答らん》に書きましょう。

川村さんの学級では、集めた資料をもとにして意見文を書く学習に取り組んでいます。「本」について書くことにした川村さんは、いろいろな方法で取材をしました。

- Ⅰ 川村さんは、本とインターネットの情報^{じょうほう}を比べて、次のメモをまとめました。メモ中の（ ）①、②に当てはまる言葉を、あとのア、イから一つずつ選んで、その記号を書きましょう。

【メモ】

一般^{いっぱん}に、情報をいち早く知りたいときは（ ① ）を、ある情報について、よりくわしく知りたいときは（ ② ）を使う人が多い。

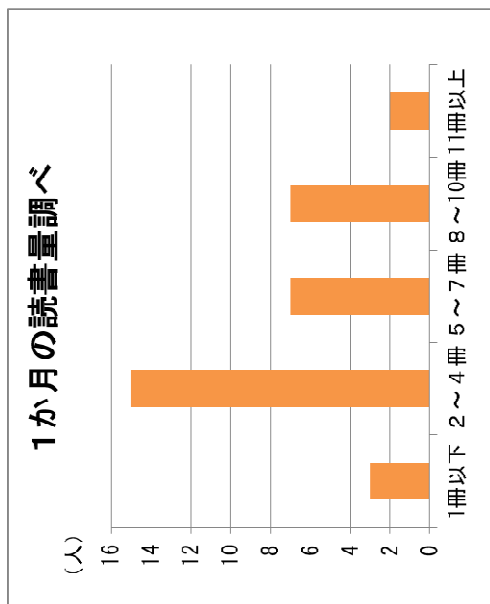
ア 本 イ インターネット

- Ⅱ 川村さんは、取材をしたあと、次のAからCの資料をまとめました。

【資料】

- A 一か月の読書量調べ（クラス全員へのアンケート調査結果^{ごうさけつ}）

「あなたは、一か月に何冊^{ちふ}くらい本を読んでいますか。」



- B 市立図書館のかたのお話

子どもや学生が最も多くやって来るのは夏休みです。最近^{さいきん}は、本を借りるのではなく、情報コーナーのパソコンで調べ物をする姿が目立ちます。インターネットは、本よりも情報をす早く、手軽に調べられるとされているのかもしれませんが。

しかし、本には本のよさがあります。子どもたちには、めあての本をさがすことや、本とじっくり向き合う時間を大切にしたいと思います。

C 西山先生のお話

本を読むということは、それを書いた人が想像したことや経験したこと、考えたことなどを「自分も体験する」ということではないでしょうか。もちろん本にたよることなく、自分の力でいろいろ想像したり経験したり、また、さまざまな人と交わることで、考えを深めたり広げたりすることもできるでしょう。

けれども、一人の人間が出会える人や出来事には限りがあります。そこで、人々は、本の力を借りて知識や経験を増やすのです。また知識や経験がじゅうぶんでないみなさんには、一週間に一冊のペースで本を読むことをすすめます。

わたしの周りには、大人になつてからも、読書に親しんでいる人が多くいます。その人たちが口をそろえて言う言葉があります。それは、「本を読む習慣は、子どものころに身につけた。」という言葉です。

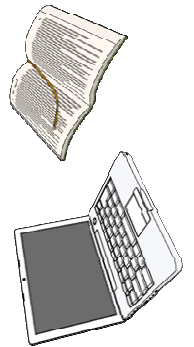
1 Aの資料から読み取れることとして正しいものを、次のAからHまでの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

A 一か月に5冊以上本を読む人は、4冊までしか読まない人よりも多い。

I 一か月に2〜4冊本を読む人は、5〜7冊読む人の二倍以上いる。

ウ 全体の1割に当たる人が、一か月に11冊以上本を読んでいる。

E 全体の五割に当たる人が、一か月に5〜10冊本を読んでいる。



2 次は、川村さんが書いた意見文です。

【川村さんの意見文】

子どもたちの本ばなれが進んでいるのは、時代の流れだと思う。なぜなら、今は、インターネットを使えば、いくらでも情報が手に入るからだ。本屋や図書館に行かなくても、手軽に情報を得ることができるインターネットは、これから先、子どもたちの世界にますます広がり、本を読まない子どもが増え続けるだろう。

真島さんは、【川村さんの意見文】と【資料】AからCを照らし合わせながら読み、次の考えを述べました。

【真島さんの考え】

川村さんの文章は、大人っぽい感じで、説得力があります。取材した結果をまとめた資料B、Cの内容とは異なる立場で書いていると思います。

【真島さんの考え】の——線部「資料B、Cの内容とは異なる立場」とありますが、【川村さんの意見文】の内容と資料B、Cに書かれている内容のちがいを、六十字以上、八十字以内にまとめて書きましょう。

一

①

②

二

1

2

↓ 二つから書き出すこと。また、行を数えずに書くこと。

シート 22 正答例

Ⅰ ① イ

② ア

Ⅱ 1 イ

2

(例1)

川村さんは、インターネットが広がる中、読書をしないう子どもが増えることは仕方がないと書いているが、資料B、Cは、子どもが本を読むことの大切さについて述べている。(79字)

(例2)

資料B、Cが読書は重要だという内容であるのに対して、川村さんの意見文は、本よりもインターネットを多く使うのは時代の流れだという内容である。(69字)